

栽培のしおり

【ミズナ(アブラナ科)】

京都府が原産です。江戸時代の初めから栽培されてきました。関東地方では「きょうな(京菜)」と呼ばれます。茎は細く、よく枝分かれして大株となり、葉は細かく切れ込みます。4月ごろ、「あぶらな」に似た花を咲かせま

栽培時期

ふつうは秋まき(8月末～10月末)で冬に収穫しますが、春まき(3月初～5月上旬)も可能です。春にまいた場合は、抽苔(とうだち)が早いので、株が小さいうちに収穫します。

栽培のポイント

品 種

京水菜 丸葉みぶな はやとり京サラダ水菜 はりはり水菜

土壌酸性度

やや弱い(ph6.0～6.5)

連作障害

有り(1～2年)

元 肥(1米当たり)

種 蒔

- 1) ベッド(床)を均し、30～40センチ間隔に幅2センチ、深さ1センチほどの溝を2条つけます。小株で収穫するときは、20センチくらいの間隔で3条にします。
- 2) 溝のなかに、30～40センチくらいの間隔で4～5粒ずつ点まきします。小株で収穫する場合は、10～20センチくらいの間隔でまきます。
- 3) 65センチのプランター栽培では、15センチくらいの間隔で2条まきにします。もちろん、ばらまきでも構いません。

発芽日数

間引き

- 1) 草丈が15センチくらいに伸びたころ、株のまわりに化成肥料を追肥して、土に混ぜ込みます。
- 2) 葉が重なりはじめたころに、畝の両肩に2回目の追肥をして、土寄せします。

追 肥

収 穫

- 1) 若どりするときは、草丈25センチくらいで収穫します。大株どりにするときは、播種後45～60日くらいが収穫期になります。
- 2) 春まきの場合は、抽苔(とうだち)が早いので、株が小さいうちに収穫します。
- 3) 抽苔(とうだち)すると、菜の花になります。

栽培実績

品 種(京水菜)

土作り(D-2区画)

08/08/24 酸性度ph7.0

08/08/24 苦土石灰、糠

08/08/31 堆肥、配合肥料、糠

植付(D-2区画)

09/05 種蒔

09/06 発芽

09/21 間引き

09/26 消毒(馬拉ソン)

収穫(D-2区画)

08/10/20 収穫

10/29 収穫完了

植付(D-3区画)

2009/07/09 堆肥、配合肥料

07/10 種蒔

07/12 発芽

07/24 間引き

09/09 虫食いのため撤去

植付(B-2区画)

09/02 種蒔

09/04 発芽

10/10 虫食いのため撤去

品 種(xxxxxxxx)

品 種(xxxxxxxx)

2010土作り(I-2区画)

05/27 化成肥料、堆肥
05/29 種蒔、ネット掛け
XX/XX 発芽
07/07 発育不良、撤去

2010土作り(C2区画)

10/18 苦土石灰
10/23 化成肥料、堆肥
11/02 種蒔
11/07 発芽
11/21 間引き、追肥